

FUJITSU Software
ServerView Infrastructure Manager V2.2
サポートする仮想リソース管理機能のソフトウェア環境

2017年12月
富士通株式会社

改版履歴		
版数	提供年月	変更内容
01	2017年12月	新規作成

仮想化基盤の運用監視は、ServerView Infrastructure Manager V2.2 の仮想リソース管理機能を使用し
て行えます。

本書は、仮想リソース管理機能に必要なソフトウェアの動作環境の情報を提供します。

本書に記載の詳細や略語については、下記のマニュアルを参照してください。

- ・ FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.2 ユーザーズマニュアル
- ・ FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.2 用語集

仮想リソース管理機能が動作可能なソフトウェア環境は、SDS (Software Defined Storage) の種類とそ
の版数に依存します。また SDS の種類に応じて必要となるハイパーバイザー、および仮想化管理ソフト
ウェアは異なります。

仮想リソース管理機能がサポートするソフトウェア環境は以下のとおりです。

ソフトウェア環境 (SDS ※1)				仮想リソース管理機 能のサポート (※2)
		ハイパーバイザー	仮想化管理ソフトウェア	
VMware	5.x	VMware ESXi 5.x	vCenter Server Appliance 5.x	—
vSAN	6.x	6.2	VMware ESXi 6.0 Update2	○
		6.5	VMware ESXi 6.5	○
		6.6	VMware ESXi 6.5 (※3)	○
	上記以外			—
Microsoft Storage Spaces		Windows Server 2012 Hyper-V	Microsoft Failover Cluster	—
			Microsoft System Center 2012	—
Microsoft Storage Spaces Direct		Windows Server 2016 Hyper-V	Microsoft Failover Cluster	○
			Microsoft System Center 2016	—

※1 SDS : Software Defined Storage

※2 ○ : サポート対象 — : サポート対象外

※3 vSAN 6.6 は ESXi 6.5d 以上、および vCenter Server Appliance 6.5d 以上 が必要です。